

「井上プラン 2007（東北大学アクションプラン 2009 年度改訂版）」について

井上プラン 2007（2007 年 3 月策定）は、東北大学（総長 井上明久）が人類社会への貢献という揺るぎなき姿勢をもって、10 年後に総合評価で「世界トップ 30 位以内」に入る「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指して打ち出した戦略実行プランです。東北大学はこのプランの実現に全力を傾注するとともに、プランの基本政策を維持しつつその内容を大学を取り巻く環境の変化に応じて 2009 年度アクションプランとして進化させます。今回の改訂プランのポイントは以下のとおりです。

1. 東北大学独自の教育システム改革

- ・ スチューデントアドバイザー制度の導入による教養教育体制の充実
- ・ 異分野融合領域における高度な研究人材の育成
- ・ 科学オリンピックの受賞者など世界的な才能を有する学生の入学システムの検討

【説明】東北大学は『知の継承体』として、築き上げてきた知を教授する教育システムの再構築を図り、『知の創造体』を担う高度な教養、専門的な知識及び国際的な視野を備えた指導的人材を多数輩出します。

その具体的なプランとして、昨年 4 月に創設した教養教育院を中心に、世界的研究を発信した総長特命教授（定年退職したシニア教授）による研究の神髄を伝承する教養講義の開講、英語の外部検定試験（TOEFL）の拡充、スタディアブロード・海外インターンシップ等の制度の活用、学生の学習を支援するスチューデントアドバイザー制度の導入など、教育システムの改革を進めていきます。また、異分野融合領域研究を担う高度な研究人材の育成を進めるため、国際高等研究教育機構、原子分子材料科学高等研究機構及びグローバル COE プログラムとの連携の下で、大学院教育の充実を図ります。さらに、より優秀な学生を獲得するため、科学オリンピックの受賞者など世界的に優れた才能を有する学生を積極的に入学させるシステムの導入を検討します。

2. 世界トップレベルの研究成果の創出

- ・ 領域横断的な新基軸研究の推進 — エネルギー科学分野、環境分野など
- ・ 世界トップクラスの知のネットワークを通じた国際共同研究の推進

【説明】東北大学は『知の創造体』として、戦略的独創研究と長期的視野に立つ基盤研究推進のために本学独自の最先端の研究体制の構築を図り、世界トップレベルの研究成果を創出します。

その具体的なプランとして、時代をリードするグローバル COE プログラムの採択強化や、新たな取組が求められる社会的課題（エネルギー科学分野、環境分野等）に対して領域横断的な学際的研究を推進していきます。また、APRU

(Association of Pacific Rim Universities)、T.I.M.E. (Top Industrial Managers for Europe)、AEARU (The Association of East Asian Research Universities) など世界トップクラスの大学・研究機関との知のネットワークを通じた世界トップレベルの共同研究を推進していきます。

3. 世界トップクラスの知の社会連携への活用

- ・ 地域産業に役立つ人材育成による社会貢献
- ・ 東北大学百周年記念会館、図書館など市民に開かれたキャンパス施設の積極開放
- ・ 「サイエンスカフェ」の全国展開、ディスティングイッシュトプロフェッサー等による「移動講座」の開催

【説明】 東北大学は「世界と地域に開かれた大学」として、その人的・知的リソースを広く社会に還元して、人類社会の発展に貢献します。

その具体的なプランとして、社会のニーズの要請に応じて地域産業（クリーンエネルギーなど）に役立つ人材育成について貢献します。また、国公私立大学等との積極的連携を図り、東北地方全体の大学、高等教育研究機関とともに、地域コンソーシアム等による交流を促進します。さらに、東北大学百周年記念会館、図書館など市民に開かれたキャンパス施設の積極開放や、市民の知的好奇心にこたえる「サイエンスカフェ」の全国展開、ディスティングイッシュトプロフェッサー等による「移動講座」の開催にも力を入れていきます。

4. 世界に開かれた国際水準キャンパスの構築

- ・ 国際水準化へ向けたビジョンに基づくキャンパス環境の実現
- ・ 地球環境の保全への貢献 — 温室効果ガス排出削減計画の着実な実行
- ・ 学生の学習支援のための図書館機能の強化

【説明】 東北大学は『知の創造体』、『知の継承体』として展開する多様な教育研究活動を支える国際水準のキャンパス環境を整備します。

その具体的なプランとして、青葉山新キャンパスについては、造成工事、土木工事、建物の実施設計などその整備を進めるとともに、ユニバーシティハウス、ゲストハウスなどのニーズの点検評価に基づく整備計画を策定してPFIを含めその整備手法と資金計画を立案して実行します。また、地球環境の保全という人類社会の喫緊の課題に対し、エコキャンパスを目指して本学にふさわしい環境マネジメントシステムを導入するとともに、二酸化炭素排出削減と更なる省エネルギーに取り組むため、「東北大学における温室効果ガス排出削減等のための実施計画」を着実に実行します。さらに、図書館における学生の学習支援の取組を強化し、開館時間の延長、学生用図書の実充、情報通信技術（ICT）を活用しグループで自主学習を行える環境整備などを進めます。

5. 世界リーディング・ユニバーシティを支える大学マネジメント

- ・ 国際標準のガバナンス体制 — 戦略的な法人経営体制の整備
- ・ 「リサーチ・プロフェッサー（仮称）」の制度化
- ・ 日本初の欧州大学協会による世界的視点での外部評価の実施

【説明】東北大学は『知の経営体』へと変革し、本学を取り巻く環境の変化や時代の要請に対応できる財政基盤をはじめとする経営基盤を確立します。

その具体的プランとして、国際標準のガバナンス体制に基づく迅速かつ効率的な戦略展開力の強化を図るため、理事・副学長・部局長等のガバナンス体制の在り方を検討し、戦略的な法人経営体制を整備します。また、国際競争力を支える教員の確保策の一つとして、これまでの「ディスティングイッシュトプロフェッサー」（各分野において先導的役割を担う教授）、「ユニバーシティプロフェッサー」（世界トップレベルで国際的影響力のある教授）の整備に加え、定年退職した教授で一定額以上の外部資金の獲得等を資格要件として雇用する「リサーチ・プロフェッサー（仮称）」の仕組みを検討します。さらに、グローバル化の進展の中で大学の評価における国際的な視点を導入するため、我が国で初めて欧州大学協会による外部評価を取り入れます。

（以 上）

〔上記についてのお問い合わせ先〕

国立大学法人東北大学総長室 経営企画スタッフ（大川俊治・今野一幸）

TEL 022-217-5006・5007（直通） FAX 022-217-4856